

2. 九州側提案事項

(添付資料2)

【九州側】提案事項

	提案事項	内容
1	サービス産業の生産性向上について	(具体的内容) ○我が国において、サービス産業は、GDP、雇用の7割を占める産業であるが、多様な業種から構成されていることもあり、製造分野のような生産性向上運動は進められてこなかった。 ○したがって、サービス分野の生産性向上の余地は大きい。 ○今後は、生産性向上方策や、少子高齢化・人口減少に対応したサービス産業が重要。 ○中国・韓国においても、高齢化が急激に進むことから、参考になることが多い。 ○サービス産業の生産性向上、健康関連サービス産業の育成・創出、サービス産業の国際協力の3点の取り組みの推進協力について提案。
2	環黄海におけるサプライチェーンの強化策(クラスター間の交流促進)	(具体的内容) ○今年3月11日に発生した東日本大震災では、東日本地方の半導体工場が被災し、操業を2ヶ月以上に渡って停止したため、九州にある工場も含め、日本の自動車産業全体が生産停止に追い込まれた。 ○また、今般のタイ王国における洪水被害においても、現地の電子部品工場が被害を受け、日本・中国・韓国をはじめ世界中の製造業において部品供給が不安定になるなどの影響を受けている。 ○環黄海における産業構造を高度化するためには、部品・素材から製品に至るまでの「産業間の繋がり」、つまり「サプライチェーン (Supply Chain)」を強固なものにしていく必要がある。 ○そのために、エレクトロニクス・半導体、バイオテクノロジー・機能性食品など、環黄海地域全体で世界的な国際競争力を有する分野において、産業クラスター間の交流を活性化することを提案。

	提案事項	内容
3	長崎 EV&ITS プロジェクトの情報発信(次世代 EV 社会モデルの構築)	(具体的内容) ○長崎県では、EV(電気自動車)と ITS(高度道路交通システム)を連動して、地域の観光情報等を配信、案内誘導する「未来型ドライブ観光システム」を構築する「長崎 EV&ITS(エビッツ)プロジェクト」を推進しているところ。 ○本プロジェクトは、来るべきEV社会を先取りして、EVを支えるモビリティネットワーク、情報通信ネットワーク、エネルギーネットワークが構築された次世代EV社会モデルを目指す。 ○本プロジェクトのこれまでの成果概要と今後の取組を紹介し、環黄海地域での長崎EV&ITSモデルの普及につなげていきたい。 ○そのため、長崎EV&ITSプロジェクトが目指している次世代EV社会モデルを環黄海圏域で紹介する機会を設けて頂きたい。 ○環黄海圏域におけるEV関連の取組について意見交換する機会を設けることを提案。
4	環黄海地域の経済交流の強化に向けた国際コンベンションの活用(3つの産業見本市への出展・来場の要請)	(具体的内容) ○(財)西日本産業貿易コンベンション協会は、九州の産業と貿易の振興を図ることを目的として設立された公益財団法人で、北九州市に所在。 ○環黄海地域の経済交流における国際コンベンションの活用として、環黄海地域のBtoB取引の拡大、産業・貿易の交流促進に寄与するため、以下に紹介する当協会主催の3つの産業見本市への環黄海地域からの出展や来場への協力をお願いしたい。 1) 地球環境・新エネルギー技術見本市「エコテクノ」 2) ものづくりとIT技術の見本市「九州・国際テクノフェア」 3) 次世代エネルギー普及啓発の見本市「水素エネルギー先端技術展」 ○また、エコテクノをはじめとする、協会主催の 3 つの産業見本市への韓国・中国からの出展・来場者の協力を要請。